

2022 3・28 毎週月曜 第5週除く 第1239号

週刊ビル経営

発行所 (株)ビル経営研究所 〒104-0061 東京都中央区銀座7-17-12 2F TEL 03(3543)7421 FAX 03(3543)5839 発行人 垂澤清三 年間購読料 30,000円(税込)

編集後記 猫の快適さとは何か考えた。先日、庭の片隅に猫小屋を作ってみた。縦50センチ、高さ25センチ奥行き60センチほどの収納ボックス。入口は猫サイズに改良した。箱の壁の一面を全部空けておくことで落ち着かないようだが、猫が通れるほどの20センチ四方ほどの大

不動産業界 ニュースサイト 「ビルモール」は 毎週月曜日更新



広まる環境センシング

IoTで進化するビル管理



▲座席利用状況だけでなく、温度/湿度などのオフィス環境は、センサーを利用し遠隔からもリアルタイムで把握できる時代。(写真は「+OURS新宿」)

ワークスタイルの多様化が進んでいるが、オフィス環境を含む建物の管理手法も大きく進化している。IoTを駆使し、センシング技術で環境整備が手軽にできるようになればビル管理も大幅に効率化できるはずだ。最新の手法をこ

「+OURS新宿」(約422坪)内の様々な状況をセンサーで計測。取得したデータは見える化・数値化し、管理者側が環境の改善に役立てる。各社それぞれ「環境センシング」の強みを生かし、より快適なオフィス環境・サービスの提供を

紹介。 オフィス環境 見える化実証実験

遠隔で確認、スマホでビル管理

80台のテーブルセンサーを設置し、既に多くの企業で利用されている座席利用状況の可視化サービス「nomachii」およびZETAプラットフォームによるIoTソリューションの実験は、ZETA通

より快適な就業環境を

増加もあり、回復傾向へのニーズは今後も増が見られます。企業が加えるでしょう。環境は、コロナ禍の影響により一時減少しましたが、テレワーク需要のフレキシブルオフィス

安いコストで実現できる技術

今回の技術を生かして活用したいという声があります。データ吸い上げ、いったんクラウド上に集め、それをZETA



東京建物 ビル管理グループ 代表取締役 谷口 誠氏 シェアオフィス「+OURS」の利用状況

地域全体で展開していきたい

生産性を上げるための施設単位からいずれば、ワークスペースの需要が増えるなか、どの席がどのように使われているのか、データ分析することで次の空間づくりに生かす

「リアルタイム空席マップ」はスマホからも利用可能

「リアルタイム空席マップ」はスマホからも利用可能

CO2濃度、温度、湿度がゾーン毎に数値化される

CO2濃度、温度、湿度がゾーン毎に数値化される



テクサー 代表取締役CEO 朱 強氏

※1 ZETA通信: Z i F i S e n s e社が提唱しているLPWA規格で多チャンネル・低消費電力双方向通信が可能 ※2 ZETA DRIVE: ZETA通信に必要なサーバーとZETAで収集したデータを見る化できるアプリを兼ね備えたプラットフォームサービス。デバイス管理を行うZETAサーバーは凸版印刷が培ったデジタルサービス開発・運用のノウハウと高水準なセキュリティ基盤を生かしてクラウド上に構築、収集したデータの見える化を行うセンサーデータ閲覧システムにより、データの収集、管理から見える化までを一貫して行う。